

第39回日本創造学会研究大会

『イノベーションと創造性』

~アイデアをいかにイノベーションにつなげるべきか!?~



前野隆司 大会実行委員長



当麻哲哉



白坂成功 大会副実行委員長 大会副実行委員長



会場:慶應義塾大学 日吉キャンパス来往舎1階2階

開催日:9/9 (十) 9/10 (日)

·基調講演 1 <

9/9(土) 14:40-15:30 来往舎シンポジウムスペース

「創造とコラボレーション」

講演者: 濱口秀司

Zibaエグゼクティブフェロー、monogotoCEO 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特別招聘教授



~講演者プロフィール~

京都大学卒業後、松下電工(現パナソニック)にて全社戦略投資案件の意思決定分析 担当。98年米国のデザインコンサルティング会社zibaに参画。世界初USBフラッシュメ モリーのコンセプトをはじめとする数々のイノベーションをリード。その後パナソニック電 工新事業企画部長、パナソニック電工米国研究所の上席副社長を歴任。2009年ziba にリジョイン。2013年米国ビジネスデザインファーム monogotoを創業。

基調講演2◆ 9/10(日) 13:00-13:50 来往舎シンポジウムスペース

「目的工学と創造性」

講演者: 紺野 登

KIRO株式会社代表 多摩大学大学院教授

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特別招聘教授



~講演者プロフィール~

早稲田大学理工学部建築学科卒業。株式会社博報堂を経て、現職。知識創造、イノ ベーション経営、デザイン思考/マネジメントなどの研究と実践を行う。一般社団法人 Japan Innovation Network代表理事、一般社団法人Future Center Alliance Japan代 表理事、京都工芸繊維大学新世代オフィス研究センター(NEO)特任教授、東京大学 i.schoolエグゼクティブ・フェロー。

■ 大会要項 ■

参加方法 : 学会事務局までメールまたはFAXで参加申込書をご送付ください。(送付先:巻末参照)

(添付の参加申込書または、学会ホームページからもダウンロードできます。)

日程: 2017年9月9日(土)~10日(日)

会場: 慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎1階2階(受付は1階シンポジウムスペース入口に設置)

内容: 講演会・パネルディスカッション・懇親会・研究発表

参加費 : 事前振込 正会員3,000円/学生会員2,500円/非会員4,000円

当日払 正会員4,000円/学生会員3,000/非会員5,000円

1日目のプログラムのみ参加の場合は資料代のみで参加できます。

資料代 事前振込/1,500円 当日払2,000円

懇親会: 参加費5,000円(希望者) 会場:キャンパス内英国風パブHUB

申込書の懇親会欄よりお申込み下さい

※資料準備の都合上、できるだけ8月中のお申込みをお願い致します。参加申込み用紙は学会ホームページより入手出来ます。

◆パネルディスカッション 9月9日(土)15:40~17:30



アイデア■■■Idea デザイン■■■Design



1 ノハーション Innovation

モデレーター: 白坂成功

慶應義塾大学大学SDM研究科教授

■パネリスト■·······



を創造するには!?





株式会社エムテド(MTDO inc.)代表取締役 アートディレクター 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特任教授

東京造形大学II類デザインマネジメント卒。㈱東芝を経て、家電ベンチャーリアルフリートの創設に参画後、MTDO inc.を創設。企業や組織デザインとイノベーションの研究を通し、広い産業分野においてコンセプトメイキングからプロダクトアウトまでをトータルにデザインする「デザインマネジメント」を得意としている。 ブランディング、UX、プロダクトデザイン等、一気通貫した新しい価値創造を実践、実装しているデザイナー。

太刀川瑛弼



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特別招聘准教授



ソーシャルデザインイノベーション(社会に良い変化をもたらすためのデザイン)を生み出すことを理念に活動中。建築・グラフィック・プロダクト等のデザインへの深い見識を活かし、複数の技術を相乗的に使った総合的なデザイン戦略を手がけるデザインストラテジスト。

中村勇吾

ウェブデザイナー/インターフェースデザイナー/映像ディレクター



1970年奈良県生まれ。

東京大学大学院工学部卒業。多摩美術大学教授。1998年よりウェブデザイン、インターフェースデザインの分野に携わる。2004年にデザインスタジオ「tha ltd.」を設立。

以後、数多くのウェブサイトや映像のアートディレクション/デザイン/プログラミングの分野で横断/縦断的に活動を続けている。

大会スケジュール(予定)

9月9日(土)1日目

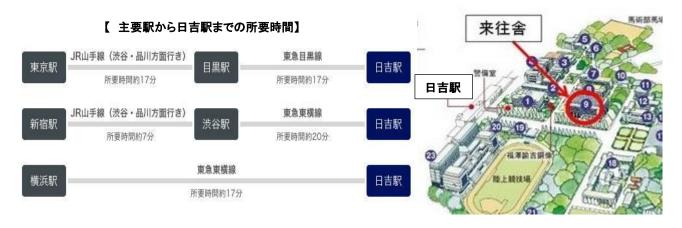
9月10日(日)2日目

時間	プログラム	時間	プログラム	
9:30~	受付開始 (シンポジウムスペース前)	9:30~	受付開始	
9:55~	開会挨拶			
10:00~12:00	研究発表 (発表20分質疑5分交替5分)	10:00~12:00	研究発表 (発表20分質疑5分交替5分)	
12:00~13:00	昼休み・合同役員会	12:00~13:00	昼休み	
13:00~14:30	研究発表 (発表20分質疑5分交替5分)	13:00~13:50	基調講演2(来往舎シンポジウムスペース)	
14:40~15:30	基調講演1(来往舎シンポジウムスペース) 「創造とコラボレーション」 濱口秀司	13:00~13:50	「目的工学と創造性」紺野登	
15:40~17:30	パネルディスカッション 「アイデア・デザイン・イノベーションを創造するには!?」 田子學、太刀川瑛弼、中村勇吾、白坂成功	14:00~17:00	研究発表 (発表20分質疑5分交替5分)	
17:30~18:00	総会·学会賞表彰式			
18:30~20:30	懇親会 キャンパス内英国風パブHUB	17:00~17:10	閉会挨拶 前野隆司実行委員長	
	「「ファンザ1大国」」、「IUD	」 ※スケジュールは都合	たにより変更になる場合もございます。	

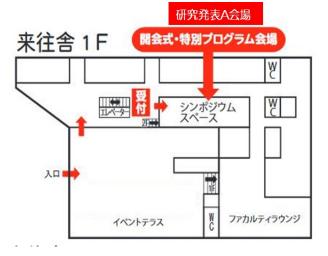
【会場までの交通のご案内】

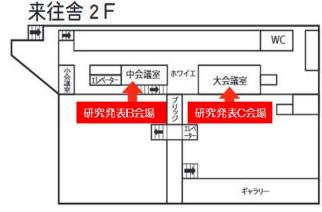
慶應義塾大学日吉キャンパス

所在地:〒223-8521 神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1 慶應義塾大学日吉キャンパス 日吉駅(東急東横線、東急目黒線/横浜市営地下鉄グリーンライン)徒歩1分



来往舎会場見取り図





9月9日(土) 研究発表スケジュール(予定)

A会場:シンポジウムスペース

時間	発表者名	発表タイトル	所属
10:00- 10:30	三原康司	イノベーション創出思考法・目的展開による創造力向上と教育課題 一学生と社会人に対する定量的効果測定一	千葉工業大学
10:30- 11:00	北門達男	情報分析・課題解決技法で英語学習を工夫する	近畿大学
11:00- 11:30	三枝省三 他	初年次教育における思考・発想力の強化(第2報) ~内外教員連携によるアイデアマラソン自主発想の促進と継続性強化について~	就実大学
11:30- 12:00	池田和浩 他	ほめごろしの効果: 作業努力量に対して不適切なほめことばを与えたときの心理的影響の検証	尚絅学院大学
13:00- 13:30	國藤進	JAISTギャラリー創世記	北陸先端科学技術 大学院大学
13:30- 14:00	小國美貴 他	特産品を資源とした「地域づくり」における創造 一石川県能美市和気町の「国造ゆず」を事例に一	
14:00- 14:30	足立寿通	システムデザイン思考を活用した公共施設の課題解消への糸口 大津市	

B会場:2階中会議室

時間	発表者名	発表タイトル	所属
10:00- 10:30	藤原由美 他	アクティブラーニングによるWebカメラを用いたサービス接遇教育の効果	産業能率大学 /慶應義塾大学大学院
10:30- 11:00	小粥幹夫	教員のアクティブ・ラーニングによる対話を通した授業改善PDCA	日本経済大学大学院
11:00- 11:30	姜 理惠 他	かき氷店経営によるアクティブラーニングと参加学生のクリエイティビティ	北陸先端科学技術 大学院大学
11:30- 12:00	國枝佳明 他	海事教育における異なる種類のアクティブラーニング型授業	東京海洋大学
	T	T	1
13:00- 13:30	澤泉重一	偶然の事象を活かす意義 ― 些事大切・常在創造	SAM日本チャプター
13:30- 14:00	田村新吾	実践的創造場の考究	㈱ワンダーワークス
14:00- 14:30	岡田政則 他	移動時における気づきの収集	金沢学院大学

C会場:2階大会議室

時間	発表者名	発表タイトル	所属
10:00- 10:30	延原恒平	エフェクチェーション視点での「創新普及」の実践	関西学院大学
10:30- 11:00	片山 立	目的手段体系に基づく起業家の意思決定過程の可視化	夢・アーキテクティング 工房
11:00- 11:30	片岡敏光 他	イノベーションに貢献するキーパーソンの気質研究	(株)パットブレーン /日本経済大学大学院
11:30- 12:00	須賀田正泰	最近の脳研究から類推した創造機構仮説	スガタ技術士事務所
13:00- 13:30	國友尚 他	エピソード・クエスト -転機探究に基づくチームビルディング手法-	慶應義塾大学大学院
13:30- 14:00	櫻井敬三	円滑なグループ活動を推進するための導入研修	日本経済大学大学院
14:00- 14:30	高校生を対象とした「システム×デザイン思考」教育が創造性の向上に与る影響		慶應義塾大学大学院

9月10日(日) 研究発表スケジュール(予定)

A会場:シンポジウムスペース

	I M I V V V V V V V V V V V V V V V V V			
時間	発表者名	発表タイトル	所属	
10:00- 10:30	藤本逸子	創造性を育む授業―「保育内容表現」の試み―	東海学園大学	
10:30- 11:00	平山隆浩	「素朴な創造性」と幼児教育 -素朴という原点への回帰-	西日本短期大学	
11:00- 11:30	冨田雅史 他	エンジニアリング・デザイン教育への創造技法導入についての検討	サレジオ工業高等 専門学校	
11:30- 12:00	中川 徹	人類文化の主要矛盾「自由vs愛」を考察する (2) 個人における「自由vs愛」の矛盾・葛藤と「倫理」	大阪学院大学/ クレプス研究所	

時間	発表者名	発表タイトル	所属
14:00- 14:30	石井力重	PPG ブレスト ~不慣れな人たち向きのブレインストーミング方法~	アイデアプラント / 早稲田大学
14:30- 15:00	清野聖人 他	リアルタイムフィードバックを用いたアイディア発想支援システムの開発	北陸先端科学技術 大学院大学
15:00- 15:30	馬場康之	「シナリオーイノベーション創出法」 ―ストーリーの表現技法としての映像シナリオの有効性に関する一考察―	㈱毎日放送
15:30- 16:00	北原康富	素人発想・玄人実行とC-K theory	名古屋商科大学
16:00- 16:30	豊田貞光	組織風土変革プロジェクトにおける主要メソッドの研究(Ⅱ)	産業能率大学

B会場:2階中会議室

時間	発表者名	発表タイトル	所属
10:00- 10:30	澤谷由里子 他	現在と未来の内挿によるハイレベルビジネスケース生成法	東京工科大学
10:30- 11:00	小出 実	聴覚障害における人工内耳等の医療機器等に関する技術軌道分析 一人工内耳を中心としたイノベーション調査—	東北文化学園大学
11:00- 11:30	徳永達哉 他	製品設計からイノベーションまで	三井化学株式会社
11:30- 12:00	王 珊珊	起業初期段階における起業者のリアリティショックの構造に関する研究	日本経済大学大学院

時間	発表者名	発表タイトル	所属
14:00- 14:30	川路崇博	社会的テレプレゼンスを増強するビデオチャットシステムの開発構想 - 疑似的な前後方向の運動視差と疑似的なカメラの絞り効果-	久留米大学
14:30- 15:00	今泉 竜	イノベーションのマスターアルゴリズムの開発 ベクターにデバイスを用いフィルターでシフト ~	株式会社 わ
15:00- 15:30	ウイリアム・リード	ひらめき脳を手に入れる書のススメ Shodo in the Digital Age: Brush Calligraphy and Handwriting for Concentration and Creativity	山梨学院大学
15:30- 16:00	エド・はるみ他	ネガポジ反転学1・ネガポジ笑転学2 -身体的アプローチに基づく精神状態・人間関係の改善法-	慶應義塾大学大学院
16:00- 16:30	中村一浩 他	対話を通じて暗黙知を表出化させる「ジェネレイティブ・インタビュー」の提案	慶應義塾大学大学院

C会場:2階大会議室

O云·勿·2階八云·晚主			
時間	発表者名	発表タイトル	所属
10:00- 10:30	林 俊克 他	イワシのリーダーシップを応用したフューチャーセッションによる地域イノベーションの創出 -岡山県学童保育連絡協議会の事例-	就実大学
10:30- 11:00	中田泰子 他	産学官金連動によるイノベーション創出の「場」の形成	北陸先端科学技術 大学院大学
11:00- 11:30	相原正道	スポーツ・イノベーション ―スポGOMI大会―	大阪経済大学
11:30- 12:00	丸山一芳	起業家育成における教育手段としてのアクションリサーチ	東海学園大学

時 間	発表者名	発表タイトル	所属
14:00- 14:30	于 渓	オープン・イノベーションの条件について - 日本におけるカメラ産業の事例から-	近畿大学
14:30- 15:00	辻 周吾	日本企業における中国人社員の企業行動について 一中国人社員へのアンケート調査から—	流通科学大学
15:00- 15:30	徐 方啓	中国における自転車シェアサービスから見た社会のイノベーション	近畿大学
15:30- 16:00	江面 修	知識創造企業としての公文教育研究会	アイトク学院
16:00- 16:30	西浦和樹	協同作業の成功要因に関する教育心理学的検討 マシュマロ・チャレンジ課題中の協同作業効率に及ぼす目標設定の効果	宮城学院女子大学

▲▼▲2017年 7月22日 第50回クリエイティブサロン開催報告▲▼▲

講演会: 『新たな価値を創る方法論としてのForesight Creation』

講演者:松波晴人氏 大阪ガス行動観察研究所所長、兼(株)オージス総研行動観察リフレーム本部



(概要) イノベーションが求められる中、「新価値創造の方法論」として様々な方法論が提唱されているが、この分野における理論とメソッドはまだ確立されているとはいえない。大阪ガス行動観察研究所は、これまでの実績(プロジェクト累計1,000件)を踏まえて、「新価値創造の方法論」の理論とメソッドを構築することを試み、Foresight Creationと名付けた。この方法論においては、必要とされる能力を「8つの玉」の理論としてまとめ、それぞれの「玉」を育成する方法論を開発した。このForesight Creationを大阪大学でForesight Schoolとして学生を対象として実施した結果、1)新たな価値を生む消しゴムが商品化される、2)EDGEコンペにて阪大チームが優勝する、といった成果が得られた。本講演では、Foresight Creationの方法論とはどういうものなのか、新価値創造において重要な点はどこにあるのか、を解説した。特に、8つの玉の内、リフレーム、統合、マインドセット、先見力の玉について事例を交えて説明を行った。リフレームとは、ビジネスにおいてそれまで常識とされていた解釈やソリューションの枠組み(フレーム)を、新しい視点・発想で前向きに作り直すことである。統合とは、これまで組み合わされてこなかった異質なものを組み合せることで新たな発想を生み出すものである。また、新価値創造に必要なマインドセットはGrowth Mindset (成長のマインドセット)であり、失敗の後に前向きさが増大する、自己効力感のことである。そして、先見力とは「新しい発想」の妥当性を目利きし、評価する能力のことであり、顧客の理解と実現したい未来への意志から形成される。

(所感) 活発な質疑応答の中、とても勉強になったのは、創造におけるこれまでの先人の知恵(それは、とりもなおさず創造学会のみなさんの知恵でもある)と、今回紹介したForesight Schoolの共通点である。新価値の創造を、方法論としてメソッド化しようとするForesight Creationの取組において、もちろんすべてが見える化できたわけではない。むしろ、手順化できるのはここまでであり、あとはこれまでの知恵をもとに、Do & Learnしていくしかないのではないか、との思いを強くした。

(記事 松波晴人)

ワークショップ: 『Foresight Creationにおける特に重要な「玉」の理論と実践』

講師: 松波晴人氏 大阪ガス行動観察研究所所長、兼(株)オージス総研行動観察リフレーム本部 平松健 氏 大阪ガス行動観察研究所研究員兼(株)オージス総研行動観察リフレーム本部



(概要) Foresight Creationとしてまとめた「新価値創造の方法論」においては、必要とされる能力を「8つの玉」としてまとめた。その内の、4つの「玉」について、参加者のみなさんとともにグループワークを実施した。1つ目は着観力で、いかに気づきを得るか、そのためには受容(受け入れる)と学習(他者から学ぶ)が重要である、ということを認知的不協和に関するワークを実施することで共有した。2つ目はリフレームで、こちらについてもワークを通じて、「いったん持ってしまった仮説から、さらに別の仮説を考えることがいかに難しいか」ということを体験してもらった。3つ目はマインドセットで、「森の中に入るワーク」「さしすせそ」を禁止するワークなどを通じて、いかに失敗を恐れがちであるか、チャレンジ精神を持ちにくくなっているか、を実感していただいた。これまで、「新価値創造」についてはスキルの面が注目されてきた側面があり、もちろんスキルは重要なのであるが、今回のForesight Schoolの実践を通じて得られた学びは、スキル以前に「マインドセット(特にチャレンジ精神や自己効力感、他己実現など)」があることが重要である、ということである。4つ目はメタ認知である。Foresight Creationで用いる「fact→insight→foresight」の手法を用いて、自らの理解を進める、ということを実施してもらった。重要なのは、行動観察を通じて「他者を理解する」と同時に、「自分を理解する」という点である。つまり、新しい価値を生むためには、自分がそもそもどういう枠組みにとらわれているのか自分で把握するとともに、自分の意志を明確にすることが必要である。

(所感)チャレンジ精神を失っているのではないか、というのは様々な組織で問題になっていることであるが、創造学会のみなさまは別であった。森に入るワークではすべての班が森に入り、またリフレームのワークでは認知的不協和を乗り越えた班がとても多い、ということから考えると、参加者のみなさんは成長のマインドセットをもち、さらには柔軟な考え方をお持ちであることがわかった。問題は日本全体をそのようなマインドに変えていくことである。

(記事 松波晴人)

日本創造学会 著作賞 (2015年-2016年出版)

日本創造学会著作賞は、学会賞委員会による厳正なる審査の結果、次の方が受賞されました。表彰式は9月9日の総会会場にて執り行われます。



著者名: 林義樹 他 (共著・学術部門) 書籍名: ラベルワークで進める参画型教育

学び手の発想を活かすアクティブラーニングの理論・方法・実践

著者名: 西浦和樹 他 (共著・翻訳部門)

書籍名:北欧スウェーデン発 森の教室-生きる知恵と喜びを生み出すアウトドア教育



追悼:藤澤義之さん 日本にブレストを紹介してくださりありがとう!

理事:高橋 誠

元日本興業銀行(現みずほ銀行)会長で、日本にブレインストーミングを紹介するきっかけを作った、日本創造学会会員の藤澤義之さんが、7月19日に80歳で逝去されました。藤澤さんは、東大の学生時代に産業能率短大の創始者上野陽一先生からブレインストーミングを紹介されました。その後、息子の上野一郎先生が、ブレインストーミングの提唱者オズボーンの著書「Applied Imagination」の翻訳を企画しました。藤澤さんは、日本初の創造性の研究会「創造性研究会」を創立していましたので、この研究会の仲間に呼びかけ、分担して翻訳をし、上野一郎先生の監修で出版されたのが「独創力を伸ばせ」(ダイヤモンド社刊)です。本書は1958年(昭和33年)に出版され、創造性の重要さを日本に広める先駆けになりました。

「創造性研究会」は後に「日本独創性協会(CTA)」と名称を変えました。私は大学3年の時にこの会の委員長になり、創造性の世界に入るキッカケとなりました。会は当時200人以上の会員を擁し、研究大会を開き、週刊誌まで出していました。私はこの会で、企業の創造性教育や子供の創造性教育の「動く創造性教室」「ワンパク発明学校」などを主宰し、仲間と川喜田二郎先生の紙切れ法を「KJ法」と名づけるなどもしました。

藤澤さんは大学卒業後、日本興業銀行に入り最後は会長になり、その後、メリルリンチ日本証券の会長も務められました。この会長の時、そして私が日本創造学会の理事長時の2004年に、私は日経産業新聞と学会の共催で、ノーベル賞学者の江崎玲於奈先生を会長に「創造委員会」を設立しました。藤澤さんにはこの委員になっていただき、同年9月に開催した「創造型企業のつくり方」のシムポジウムには、パネリストとして登場してもらいました。そのご縁で、お亡くなりになるまで学会の会員になっていただきました。その後、藤澤さんはASL(筋萎縮性側索硬化症)を患われました。その不自由なお体なのに、目だけでパソコンに入力し、私にメールをくださいました。

藤澤さん、長い間どうも有難うございました。どうぞ安らかにお休みください。

日本創造学会論文誌Vol.1-20 全20巻(1996年~2016年) 研究大会論文集(2002年~2016年)は学会事務局にて販売しています。



- ◆論文誌新刊(2016年版 Vol.20) DVD 価格 3,000円 論文誌バックナンバー DVD 価格 2,000円
- ◆研究大会発表論文集(24-38回大会)DVD 価格 1,000円 ※各論文誌・論文集はDVDデータ(PC対応)となります。 発送の際には送料実費(400円程度)がかかります。

各号論文誌・論文集に採録された論文タイトルは学会HPで確認できます。

◆◆◆新入会員紹介◆◆◆

入会者(入会順)

氏名	会員種	所属	住所	専門分野
小國美貴	正会員	北陸先端科学技術 大学院大学	石川県	地域研究 文化人類学
丸山一芳	正会員	東海学園大学	愛知県	知識経営 起業論
清野聖人	学生会員	北陸先端科学技術 大学院大学	石川県	発想支援システム グループウエア
足立寿通	正会員	大津市	京都府	公共施設マネジメント 官民連携
林 俊克	正会員	就実大学	神奈川県	データサイエンス マーケティング
延原恒平	正会員	関西学院大学	大阪府	イノベーション経営
相原正道	正会員	大阪経済大学	京都府	スポーツマネジメント オリンピック・パラリンピック
中村一浩	学生会員	慶應義塾大学大学院	千葉県	対話(ダイアローグ) イノベーション・事業創出
エド・はるみ	学生会員	慶應義塾大学大学院	東京都	対人コミュニケーション 接客マナー向上による人の幸福感
米田巌根	正会員	慶應義塾大学大学院	東京都	プロジェクトベースドラーニング 教育工学
澤谷由里子	正会員	東京工科大学	東京都	イノベーションンマネジメント サービスデザイン
デビッド・メッセイ	正会員	関西学院大学	兵庫県	テクノロジーマネジメント イノベーションの普及
橋本義弘	正会員	内藤証券㈱	神奈川県	起業価値分析 起業経営戦略
富沢日出夫	正会員	産業能率大学	千葉県	データサイエンス 地方自治行政



2017年度日本創造学会総会は研究大会の1日目、9月9日(土)午後5時30分より、大会 会場である慶應義塾大学日吉校舎来往館シンポジウムスペースにて開催されます。総会は全 会員参加を基本とします。参加ができない場合は、事務局より送信された確認メールの委任 欄をご記入の上、8月20日までに必ず返信くださるようお願い致します。

事務局メッセージ

本年度大会の基調講演は、USBメモリーなどの 多数のイノベーションをリードし、コンセプト立案、戦 略構築について独自の理論と方法論をもつ濱口秀 司氏の「創造とコラボレーション」、目的を媒介に利 益追求だけではなく社会的に意義あるイノベーショ ンや事業を創造する、紺野登氏の「目的工学と創造 性」どちらも創造学会ならではの素晴らしい講演で す。会員の皆様、どうかお聴き逃し無く!

(事務局:比嘉)

日本創造学会 ニューズレター

2017年8月発行(№3) 日本創造学会事務局 発行人:田村新吾 編集担当:比嘉由佳里

〒272-0015 千葉県市川市平田

1 - 10 - 2Tel 080 - 3465 - 6152Fax 047 - 718 - 1747

e-mail: jcs-info@japancreativity.jp